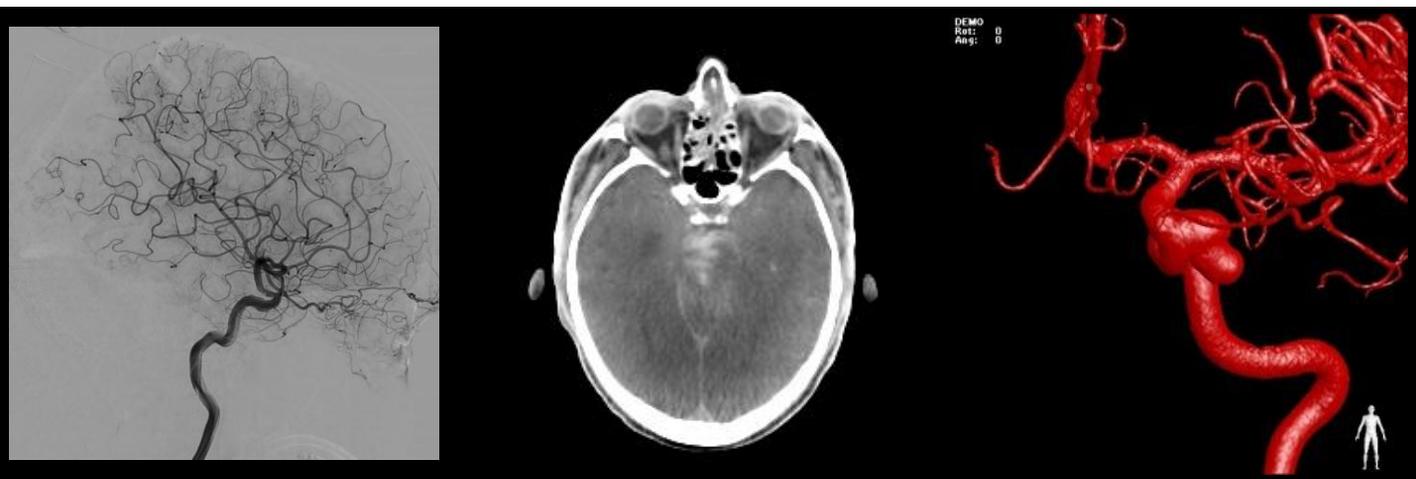


最新鋭血管撮影装置の導入

フィリップス社製 Allura Clarity FD20/15 (アルーラクラリティ)



オランダ フィリップス社製



線量低減画像

CTライクイメージング画像

3D画像

近年、X線装置を使用した血管内治療は、より複雑・高度化し、治療に要する時間も長時間化しています。このような高度な治療に際して正確な診断を行うためには、以前にも増して高画質が求められます。一方で長時間の検査・治療や高画質への要求は、患者および医療スタッフへの被ばくの増加にもつながっており、被ばくの低減も大きな課題となっています。この相反する問題の解決に大きく貢献するのが、今回登場した新世代のX線装置「AlluraClarity」ファミリーです。画質の向上と被ばくの低減の両立を実現し、例えば従来品と比較した場合、ほぼ同じ画質を維持して被ばく量を73%低減することができます。

医療法人讃和会 友愛会病院